

Ⅲ がん死亡数及び死亡率

1. 主要部位別死亡数、粗死亡率及び年齢調整死亡率

表5に、岡山県の2006年のがん死亡数、粗死亡率及び年齢調整死亡率（標準人口：1985年日本人モデル人口）、死亡割合を男女別、主要部位別に示した。

がん死亡数については、人口動態統計の数値（外国人を含まない）を使用した。

死亡割合についてみると、男では、肺（24.9%）、胃（16.2%）、肝臓（14.0%）が上位3位を占め、女では胃（14.9%）、肺（13.4%）、大腸（13.0%）が上位3位を占めた。結腸と直腸を合わせて大腸とすると、大腸が男では9.6%で4位、女では13.0%で3位となる。

表5 死亡数、粗死亡率、年齢調整死亡率および死亡割合：主要部位別、性別 2006年

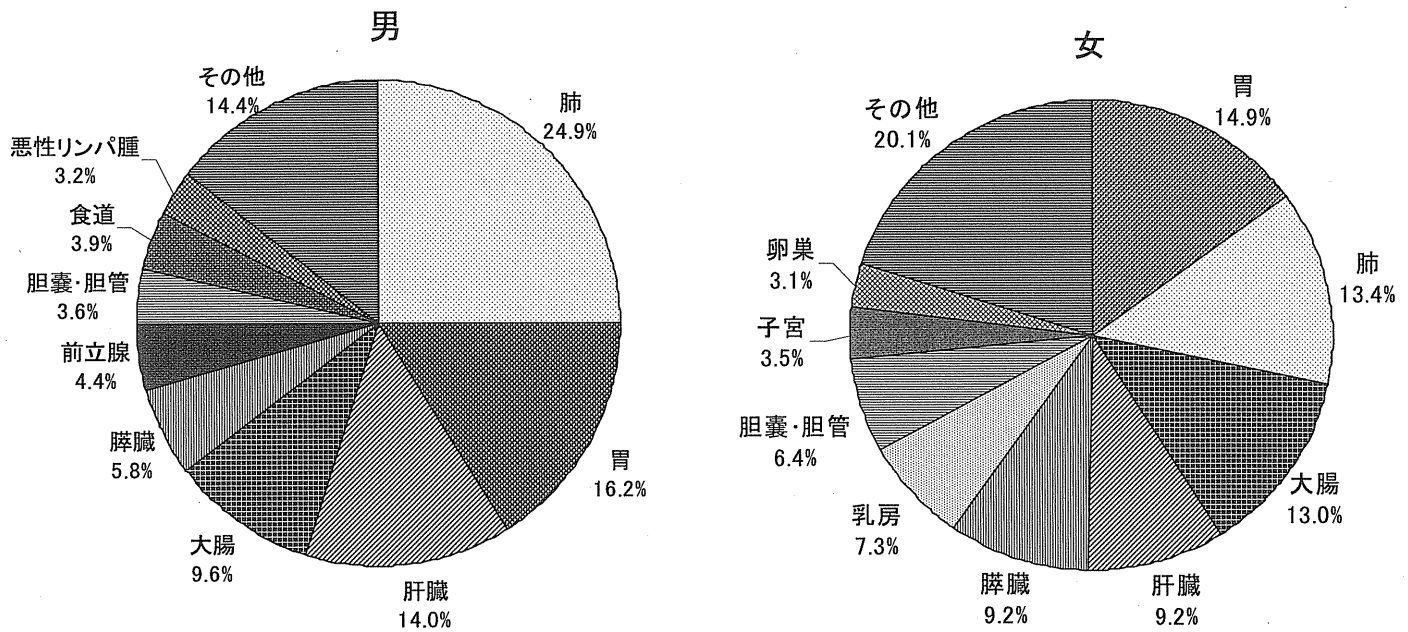
部位	死亡数		粗死亡率		年齢調整死亡率				死亡割合	
					日本人人口		世界人口			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
全部位	3,107	1,990	331.3	195.7	182.0	82.4	124.7	58.5	100.0%	100.0%
口腔・咽頭	58	24	6.2	2.4	3.6	0.7	2.5	0.5	1.9%	1.2%
食道	122	23	13.0	2.3	7.7	0.8	5.5	0.5	3.9%	1.2%
胃	504	296	53.7	29.1	29.9	11.3	20.7	8.0	16.2%	14.9%
結腸	196	185	20.9	18.2	12.0	7.0	8.5	4.9	6.3%	9.3%
直腸	103	73	11.0	7.2	6.5	3.3	4.7	2.3	3.3%	3.7%
肝臓	434	183	46.3	18.0	26.3	6.9	18.2	4.6	14.0%	9.2%
胆嚢・胆管	111	128	11.8	12.6	6.2	4.4	4.3	2.9	3.6%	6.4%
膵臓	180	183	19.2	18.0	11.0	6.7	7.5	4.5	5.8%	9.2%
喉頭	6	1	0.6	0.1	0.3	0.0	0.2	0.0	0.2%	0.1%
肺	774	266	82.5	26.2	43.8	10.0	28.9	6.9	24.9%	13.4%
皮膚 ^(*)	8	10	0.9	1.0	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3%	0.5%
乳房	1	146	0.1	14.4	-	9.6	-	7.3	0.0%	7.3%
子宮	-	69	-	6.8	-	3.9	-	2.9	-	3.5%
卵巣	-	61	-	6.0	-	3.8	-	2.9	-	3.1%
前立腺	138	-	14.7	-	6.9	-	4.2	-	4.4%	-
膀胱	71	34	7.6	3.3	3.6	0.9	2.4	0.6	2.3%	1.7%
脳・神経系	21	9	2.2	0.9	1.5	0.6	1.3	0.5	0.7%	0.5%
悪性リンパ腫	98	57	10.5	5.6	5.8	2.1	4.0	1.4	3.2%	2.9%
白血病	53	47	5.7	4.6	3.4	2.1	2.4	1.8	1.7%	2.4%

日本人人口：1985年日本人モデル人口 世界人口：Dollの世界人口

皮膚^(*)：皮膚の黒色腫を含む

図 12 に、上位 9 位の部位別死亡割合を男女別にグラフで示した（結腸と直腸を合わせて大腸とした）。

図 12 死亡数による部位別割合（%）：主要部位別、性別



2. 罹患と死亡の比較

表6に罹患と死亡（人口動態統計による）について、数、粗率、年齢調整率を男女計について対比するとともに、罹患数の死亡数に対する比（I/D比）及び死亡数の罹患数に対する比（D/I比）を示した。なお、外国人については、罹患数集計では除外していないが、死亡数は外国人を除外した数値である。

届出の量的精度を示す第二の指標である全部位のI/D比は、1.93となった。部位別のI/D比は、生存率の相対的な大小を示唆するものであるが、皮膚9.33、喉頭7.00、乳房5.40、子宮4.57、前立腺4.36が4.00以上と高かった。

表6 罹患数及び死亡数、粗率、年齢調整率(人口10万対)及び罹患数と死亡数の比:主要部位別、男女計 2006年

	数		粗率		年齢調整率 ^(*)		罹患数 /死亡数	死亡数 /罹患数
	罹患	死亡	罹患	死亡	罹患	死亡		
全部位	9,843	5,097	503.6	260.8	282.0	125.2	1.93	0.52
口腔・咽頭	133	82	6.8	4.2	4.1	2.0	1.62	0.62
食道	230	145	11.8	7.4	7.0	4.0	1.59	0.63
胃	1,548	800	79.2	40.9	42.1	19.4	1.94	0.52
結腸	1,031	381	52.8	19.5	27.6	9.2	2.71	0.37
直腸	590	176	30.2	9.0	17.7	4.7	3.35	0.30
肝臓	699	617	35.8	31.6	18.8	15.7	1.13	0.88
胆嚢・胆管	289	239	14.8	12.2	6.4	5.2	1.21	0.83
膵臓	402	363	20.6	18.6	9.8	8.7	1.11	0.90
喉頭	49	7	2.5	0.4	1.4	0.1	7.00	0.14
肺	1,358	1,040	69.5	53.2	34.2	24.4	1.31	0.77
皮膚 ^(*)	168	18	8.6	0.9	4.1	0.4	9.33	0.11
乳房	794	147	40.6	7.5	31.5	5.1	5.40	0.19
子宮	315	69	16.1	3.5	14.0	2.1	4.57	0.22
卵巣	118	61	6.0	3.1	4.4	2.0	1.93	0.52
前立腺	602	138	30.8	7.1	15.0	2.7	4.36	0.23
膀胱	332	105	17.0	5.4	8.1	2.0	3.16	0.32
脳・神経系	72	30	3.7	1.5	2.5	1.1	2.40	0.42
悪性リンパ腫	289	155	14.8	7.9	8.3	3.7	1.86	0.54
白血病	124	100	6.3	5.1	4.0	2.7	1.24	0.81

年齢調整率^(*): 標準人口は1985年日本人モデル人口を用いた。

皮膚^(*): 皮膚の黒色腫を含む

図 13、14 に 2006 年特定部位の罹患数と死亡数を男女別に比較した。

男では、罹患数 2 位の肺が死亡数では 1 位、女では罹患数 3 位の胃が死亡数では、1 位であった。

生存率を反映する I/D 比は、男の前立腺 (4.4)、女の乳房 (5.4)、子宮 (4.6) が高かった。

図 13 2006年罹患数及び死亡数(特定部位) - 男 -

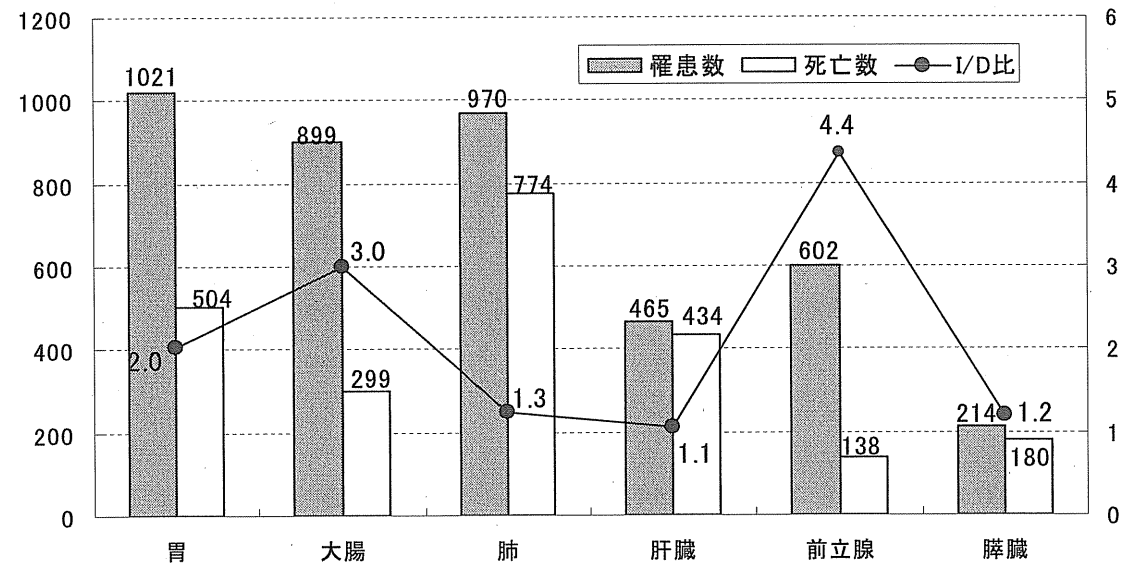
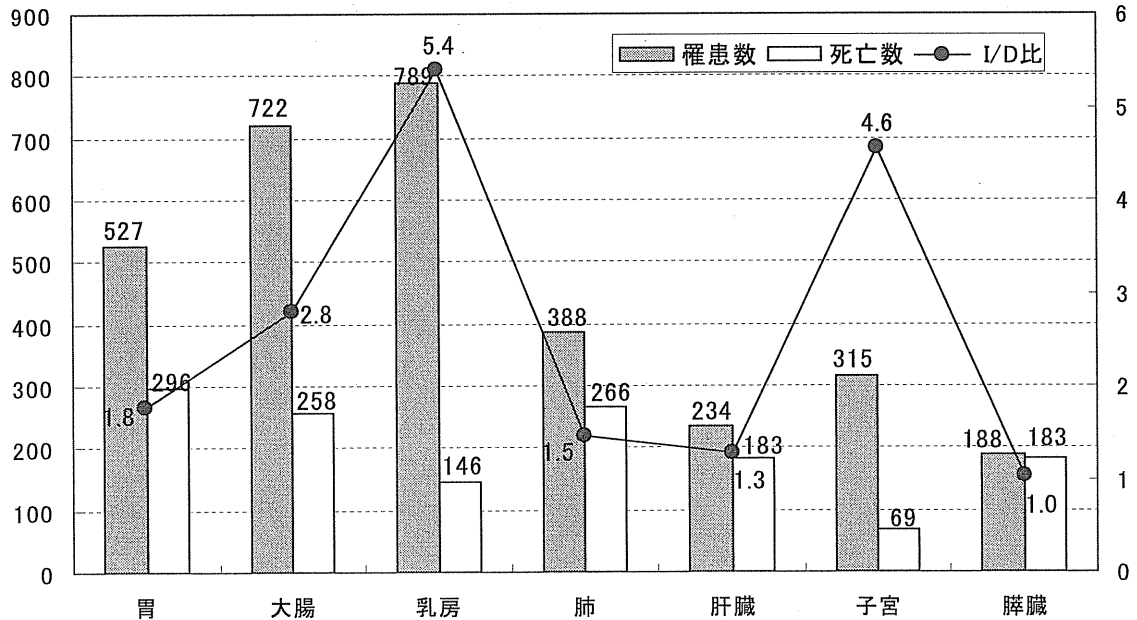


図 14 2006年罹患数及び死亡数(特定部位) - 女 -



3. 死亡率の岡山県と全国との比較

表7に、年齢調整死亡率を全国値と対比した。全部位で岡山県の全国に対する比をみると、男では0.94、女で0.86と全国を下回った。

表7 岡山県と全国との比較 -年齢調整死亡率と年齢調整罹患率(参考)-: 主要部位別、性別 2006年

	年齢調整死亡率 ^(*)				年齢調整罹患率 ^(*)			
	男		女		岡山/全国		岡山/全国	
	岡山	全国	岡山	全国	男	女	男	女
全部位	182.0	193.6	82.4	95.8	0.94	0.86	0.87	0.88
食道	7.7	9.7	0.8	1.2	0.80	0.67	0.79	0.86
胃	29.9	31.9	11.3	12.0	0.94	0.94	0.80	0.80
結腸	12.0	13.3	7.0	9.0	0.90	0.78	0.89	0.93
直腸	6.5	9.0	3.3	3.8	0.72	0.87	1.04	1.17
肝臓	26.3	22.4	6.9	7.4	1.18	0.94	0.96	0.98
胆嚢・胆管	6.2	7.4	4.4	5.3	0.84	0.82	0.80	0.78
膵臓	11.0	12.5	6.7	7.4	0.88	0.90	0.94	0.84
肺	43.8	44.0	10.0	11.7	1.00	0.85	0.97	0.91
乳房	-	-	9.6	11.7	-	0.82	-	0.98
子宮	-	-	3.9	5.1	-	0.77	-	0.83
卵巣	-	-	3.8	4.3	-	0.88	-	0.81
前立腺	6.9	8.4	0	-	0.8	-	0.87	-
膀胱	3.6	3.8	0.9	1.0	0.96	0.89	1.22	0.90
悪性リンパ腫	5.8	5.0	2.1	2.6	1.16	0.79	0.95	0.92
白血病	3.4	4.7	2.1	20.6	0.72	0.10	0.70	0.92

年齢調整死亡率^(*): 岡山の値については、表5から転記した。全国値については人口動態統計による。

年齢調整罹患率^(*): 表4から転記した。